

議 事 録	
会 議 名	令和7年第1回足助警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和7年2月26日(水)午前10時00分から午前11時30分までの間 足助警察署講堂
出 席 者	1 委員6名（定数6名） 安藤 信之 会長 佐藤 一道 会長代理 木浦 幸加 委員 鈴木 みゆき 委員 吉村 貴子 委員 矢上 彩乃 委員
	2 警察署員9名 家田 署長 塩出 副署長 安藤 会計課長 梶川 生活安全課長 後藤 刑事課長 濱田 地域課長 警備課長 警務課長代理 交通係長
	3 有識者等 なし
1 署長挨拶 2 警察署幹部自己紹介 3 警察署協議会新委員自己紹介 4 会長代理の指名 会長は佐藤委員を会長代理に指名した。 5 会長挨拶 6 報告内容 (1) 管内情勢説明 (2) 前回の意見・要望に対する取組結果 ア 前回の協議事項 今年を振り返り、来年の足助警察署に望むこと イ 前回の意見・要望 (ア) 社会通念を鑑み、人としての在り方、道德教育の推進 (イ) 地域住民と足助警察署の警察官とのより深い関係づくり (ウ) 一人暮らしの方が増えてきているので、住民の孤独防止の取り組み (エ) 巡回連絡の強化 (オ) 野荒らし等の発生に対する犯罪抑止対策 (カ) 秋の行楽期における渋滞緩和対策の継続実施	

(キ) 様々な広報活動の強化

ウ 前回の答申取組結果

様々な広報活動の強化として、交通安全と防犯の御朱印作成、ペーパークラフトの作成、小学生作成のポスターによる防犯対策を行った。

7 今回の協議事項

効果的な特殊詐欺の防止対策

8 委員発言の要旨

・地域住民と一緒に具体的な地元の詐欺の実例を聞くと、自分の事として考える機会となり、危機意識は高まる。また住民間で情報の共有もできることから、引き続き、警察官からの講話をお願いしたい。

・詐欺の被害者には欲がある。講話等では、人の欲が心の隙を作り、詐欺師はその隙を利用してくるので、参加者に自らの隙を考えさせる時間を設けると良い。また、犯罪に加担すると警察に捕まって、社会的制裁を受けるだけでなく、脅しや暴力を受けながら犯行に加担しなければならない実態も広報するなど、被害を防止するだけでなく、犯行に手を染める者を減らす努力も大事である。

・コンビニエンスストアや金融機関は、色々な年齢層の人が利用することから、そのような場所で声掛けや掲示物の掲示を引き続き行ってほしい。また、講話や広報紙、声掛けの影響から、家庭内で防犯の会話ができるとうまく抑止につながる。

9 意見・要望

- ・住民一人一人の防犯意識の向上
- ・管内の地域住民を対象とした講話や学習会
- ・広報活動の強化

10 足助警察署速度等取締指針の説明

11 その他

次回の開催予定は、令和7年5月頃とする。